

政 策 部

1. 部総括表

部名：政策部

(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
1-1	政策課	883,186	832,329		50,857	
1-2	地域活力推進課	(13,064) 370,306	(13,062) 335,757		(2) 34,549	
1-3	予算課	76,670,697	76,534,175		136,522	
1-4	自治振興課	1,437,815	1,395,170	20,098	22,547	
1-5	水資源対策課	(515,457) 2,606,868	(502,244) 1,990,319	569,826	(13,213) 46,723	
1-6	統計調査課	372,272	344,982		27,290	
1-7	男女参画・県民活動課	125,832	119,578		6,254	
1-8	文化振興課	(91,744) 1,452,003	(88,788) 1,380,795	25,000	(2,956) 46,208	
1-9	瀬戸内国際芸術祭推進課	312,352	308,856		3,496	
1-10	デジタル戦略課	532,990	430,847	100,000	2,143	
1-11	情報システム課	1,281,723	1,242,010		39,713	
1-12	出納局	273,548	273,101		447	
1-13	議会事務局	1,125,707	1,113,468		12,239	
1-14	監査委員事務局	131,268	129,693		1,575	
	部計	(620,265) 87,576,567	(604,094) 86,431,080	714,924	(16,171) 430,563	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：政策課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-1-1	東京事務所運営費	171,065	166,004		5,061	東京事務所の運営に要する経費 給料59,848、職員手当等56,027、 共済費25,950
1-1-2	政策立案推進事業	460,886	424,098		36,788	主要施策の成果の概要 (1-1-2)に記載
1-1-3	政策課運営費	165,776	165,506		270	政策課の運営に要する経費 給料78,216、職員手当等51,635、 共済費30,209
1-1-4	政策部運営事務費	11,998	8,295		3,703	政策部の運営に要する経費
1-1-5	大学生等奨学事業繰出金	73,461	68,426		5,035	主要施策の成果の概要 (1-1-5)に記載
	課計	883,186	832,329		50,857	

3. 職員数の状況 (R4. 3. 31現在)

課名：政策課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
政策課	(2) 16	2	(2) 18	全国知事会へ派遣1名
東京事務所	(6) 11	2	(6) 13	派遣職員6名
合計	(8) 27	4	(8) 31	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>政策立案推進事業（1－1－2）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>せとうち田園都市の確かな創造をめざして、人口減少や中枢拠点機能の強化等、県政を取り巻く様々な課題の解決に向けて、調査研究や各種取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 政策立案推進事業（411,910千円）</p> <p>①次期総合計画策定事業（3,827千円）</p> <p>令和3年度からの県政運営の基本指針となる次期総合計画の策定に向け、有識者等との懇談会を開催するなど幅広く意見を聴取したうえで、次期総合計画『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画』を策定した。</p> <p>②次期総合計画推進事業等（3,660千円）</p> <p>有識者等との懇談会を開催し、施策評価の結果をもとに、令和2年度までの5年間で計画期間であった「新・せとうち田園都市創造計画」の進捗状況について意見交換を行うとともに、県の主要事業やイベント等を紹介する「香川県の主要事業のあらまし」の作成等を行った。</p> <p>③ふるさと想起・さぬきPR推進事業（16,904千円）</p> <p>ふるさと納税「ガンバレさぬき応援寄付」について、より効果的にPRするとともに、ふるさと香川への思いを喚起するきっかけとするため、寄付をいただいた方に対し、県産品等を贈呈した。</p> <p>④奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業（5,996千円）</p> <p>本県の産業を担う人材を確保するとともに、これらの者が県内に定着することを促進するため、大学生等を対象とした日本学生支援機構の無利子奨学金を活用して、その返還を支援する事業を実施するため、奨学金特別会計に経費を繰出した。</p> <p>⑤東京讃岐会館等東京地区県有資産利活用推進事業（8,920千円）</p> <p>東京讃岐会館を含む三田小山町西地区において、第一種市街地再開発事業が進展しているのに併せて、東京地区における県有資産の有効な利活用を図るための取組み等を行った。</p>	<p>令和3年10月に議会の議決を経て『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画』を策定し、県のホームページや冊子を活用して県民等への周知を図った。</p> <p>有識者等との懇談会での意見については、施策評価結果とあわせて、事務事業の見直しの参考とした。「香川県の主要事業のあらまし」については、東京・大阪事務所、県の出先機関等で配布し、県の事業に対する理解の促進と県の魅力のPRに役立てた。</p> <p>令和3年度「ガンバレさぬき応援寄付」受入実績は2,327件、38,478千円となった。</p> <p>返還支援の対象者の募集を行い、令和4年度に大学等へ進学・進級する23名について返還支援の対象者とした。</p> <p>また、令和3年度に支援条件を満たした対象者5名に対して奨学金特別会計から総額1,260千円の返還支援を実施した。</p> <p>再開発組合と権利床の確保や権利変換に伴う金銭給付額等について具体的な協議を進め、令和4年2月議会定例会において、財産処分議決を得た。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>⑥飲食店感染防止対策認証制度推進事業(372,603千円) 感染症対策に関して県が定める認証基準を満たす飲食店の認証制度「かがわ安心飲食店認証制度」を設けるとともに、当該認証取得に必要な経費を支援し、感染拡大防止の取組みを推進した。</p> <p>(2) 広域自治体連携推進事業(12,188千円)</p> <p>①県・市町広域連携推進事業(154千円) 人口減少が進む中、今後も県及び各市町が住民サービスを効果的・効率的に提供するとともに、新たな課題に対しても、より主体的に挑戦していけるよう、県と市町、市町間の柔軟な連携を推進するため、広域連携勉強会を開催し、各市町や庁内各課から提案のあった広域連携テーマについて意見交換を行った。</p> <p>②地方分権改革推進事業等(8,994千円) 地方分権改革の推進を図るため、全国知事会や四国知事会等と連携した検討及び国への提案等を行った。</p> <p>③四国4県連携推進事業(3,040千円) 四国4県で、県境を越えた広域的課題に対応するとともに、地域の総合力の向上や行政としての効率的対応が期待できる交流・連携の取組みを推進した。</p>	<p>令和3年6月に「かがわ安心飲食店認証制度」を創設し、認証の取得に必要な経費の助成(1,993件、244,266千円)などにより、県下の認証店の普及促進に取り組み、2,920件を認証した。</p> <p>当面の連携テーマとして、①デジタル化の推進に関する事、②公共施設の効率化に関する事、③復興事前準備の検討について、④地域連携PHR実現に向けた医療情報活用についての4項目に取り組んでいくこととなり、①②については既存の協議会等に対応し、③④については新たにワーキンググループを設置し意見交換を始めた。</p> <p>地方分権改革について、本県から1件を提案するとともに、四国知事会を通じて四国各県と6件の共同提案を行った。</p> <p>「四国遍路の世界遺産登録の推進」ほか7事業について、4県が連携して実施した。</p>
<p>大学生等奨学事業(1-1-5)</p> <p>1. 趣旨・概要 意欲や能力が高く、経済的な理由で修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることにより修学を容易にし、安心して子どもが育てられる環境づくりを進めるとともに、県内における優秀な人材の確保を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 大学生等奨学事業(68,426千円) 大学生等への奨学金貸付事業を実施するため、奨学金特別会計に経費を繰出し、同特別会計において、無利子奨学金の貸付けを行った。</p> <p>貸付対象：県内に保護者が居住し、大学、高等専門学校(第4・5学年)又は専修学校(専門課程)等に在学する者で、意欲及び能力が高く、かつ、経済的な理由により修学することが困難の者</p> <p>貸付金額：172,999千円</p>	<p>令和3年度に新たに貸付けを開始した66名を加え、285名に無利子奨学金の貸付けを行った。</p> <p>また、460名から計105,157千円の返還があり、32名に対してUターン就職による返還額の一部免除(計23,040千円)を行った。</p>

2. 課総括表

課名：地域活力推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-2-1	政策立案推進事業	525	402		123	主要施策の成果の概要 (1-2-1)に記載
1-2-2	大学等魅力づくり支援事業	37,027	31,324		5,703	主要施策の成果の概要 (1-2-2)に記載
1-2-3	移住・定住促進事業	204,888	185,024		19,864	主要施策の成果の概要 (1-2-3)に記載
1-2-4	地域づくり推進事業	27,227	18,724		8,503	主要施策の成果の概要 (1-2-4)に記載
1-2-5	前向きに頑張る事業者を応援する総合補助事業	(13,064) 13,064	(13,062) 13,062		(2) 2	R2→R3繰越 5件 (Bタイプ)
1-2-6	地域活力推進課運営費	87,575	87,221		354	地域活力推進課職員の給与費等 給料44,087、手当等24,913 共済費17,276
	課計	(13,064) 370,306	(13,062) 335,757		(2) 34,549	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R4.3.31現在)

課名：地域活力推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
地域活力推進課	(1) 11	2	(1) 13	香川大学派遣1名
合計	(1) 11	2	(1) 13	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																								
<p>政策立案推進事業（1-2-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 「第2期かがわ創生総合戦略」の着実な推進に向けて、地域の産官学金労言等の有識者等からの意見を求めるため、懇談会を開催した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) かがわ創生総合戦略推進事業（402千円） 令和2年3月に策定した「第2期かがわ創生総合戦略」の推進に向けて、地域の産官学金労言等の有識者からの意見を求めるため、懇談会を開催するなど、関係者と連携を図りながら、同戦略の推進に向けて取り組んだ。</p>	<p>令和3年11月に、第2期かがわ創生総合戦略推進懇談会を開催し、「第2期かがわ創生総合戦略」の着実な推進に向けて、意見を求めるなど、総合戦略の基本目標と重要業績評価指標の達成状況を把握し、対策の効果を検証した。</p> <p>また、施策及び重要業績評価指標について、新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済情勢の変化等を踏まえた見直しを行い、令和4年3月に「第2期かがわ創生総合戦略」を変更した。</p>																								
<p>大学等魅力づくり支援事業（1-2-2）</p> <p>1. 趣旨・概要 県内大学等の、若者から選ばれる「魅力ある大学づくり」に向けた取組みについて支援を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 大学等の強みを生かした地域を支える大学づくり支援事業（31,324千円）</p> <p>①大学コンソーシアム香川の再編・機能強化及び地域を支える大学づくりの推進（1,624千円） 県と県内大学等で設立した「大学コンソーシアム香川」を、産業界や市町等を加えて再編し、新たな産学官の連携の枠組み「大学・地域共創プラットフォーム香川」を設立した。 今後の取組みに向け、県内高校生やその保護者、大学生、企業、市町に地域の課題やニーズの調査を行った。</p> <p>②デジタル等を活用した大学づくり補助金（28,782千円） 県内大学等が行うデジタル等を活用した教育環境の整備やデジタル人材を育成するための取組みへの支援を行った。</p> <p>③大学等魅力づくり支援（918千円） 若者の県内定着促進を図るため、大学コンソーシアム香川において、県内大学等の情報を集約した「キャンパスガイド」の作成、県内大学等合同進学説明会など、連携した広報活動等に取り組んだ。</p>	<p>3. 指標</p> <p>自県大学進学者の割合 (%)</p> <table border="1" data-bbox="941 840 1404 996"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16.8</td> <td>17.2</td> <td>21.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学等における関係機関との連携協定締結数 (件)</p> <table border="1" data-bbox="941 1120 1404 1276"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>313</td> <td>323</td> <td>423</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学卒業生の県内就職率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="941 1355 1404 1512"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43.3</td> <td>44.5</td> <td>52.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学等におけるリカレント講座の受講者数 (人)</p> <table border="1" data-bbox="941 1635 1404 1792"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28~R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,185</td> <td>874</td> <td>1,200</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	16.8	17.2	21.0	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	313	323	423	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	43.3	44.5	52.0	基準値 (H28~R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	1,185	874	1,200
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																							
16.8	17.2	21.0																							
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																							
313	323	423																							
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																							
43.3	44.5	52.0																							
基準値 (H28~R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																							
1,185	874	1,200																							

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																																
<p>移住・定住促進事業（1－2－3）</p> <p>1. 趣旨・概要 大都市圏等からの移住・定住の促進を図るため、市町等と連携して、香川の魅力を積極的にPRするとともに、受入体制の整備・充実に向けた取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 市町連携等移住・定住促進事業（4,691千円） ①香川県移住・定住推進協議会事業（4,000千円） 市町との連携による移住フェアや、地域別に移住者交流会等を開催し、移住者が定住できる環境整備を図った。 ②四国4県等連携等移住促進事業（691千円） 香川の魅力を積極的にPRするため、近県と連携し、四国4県移住フェア等を開催した。</p> <p>(2) かがわ暮らし魅力発信事業（5,348千円） 移住専門誌や移住ポータルサイトなどを活用して、香川の魅力や生活情報、生活スタイルを全国に向けて広く発信した。</p> <p>(3) ワンストップ移住相談窓口サービス提供事業（25,227千円） 就職・移住支援センター、東京事務所、大阪事務所、ふるさと回帰支援センターに移住相談窓口を設けて、移住相談に対するワンストップサービスを提供した。</p> <p>(4) 東京圏U J I ターン就職等推進事業（7,212千円） 地方創生推進交付金を活用し、東京圏から本県に移住し、県内中小企業等に就職した者に対して、移住支援金を交付した。</p> <p>(5) 地域活性化U J I ターン促進事業（43,189千円） ①大都市圏U J I ターン転職相談事業・県外大学訪問及び父母会等連携事業（3,183千円） 東京・大阪においてUターン転職相談会や学生向けUターン就職支援セミナーを開催するとともに、県内における保護者向けセミナーの開催などによる就職情報の提供を行った。 ②香川に帰ろう！協定大学Uターン就職促進事業（1,202千円） 就職支援協定締結校等の学生に向けて、Uターン就職したOB・OGが講演を行うシンポジウムを開催する等、協定校との連携強化を図り、Uターン就職の促進に取り組んだ。 ③Uターン・県内就職促進情報発信・調査事業（4,150千円） 県外大学進学者のUターン就職と県内大学進学者の地元就職を促進するため、かがわ暮らしの魅力等を紹介するパンフレットを作成し、配布を希望する学生の実家に送付した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県人口（各年10月1日現在）（人）</p> <table border="1" data-bbox="943 315 1401 454"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>951,049</td> <td>942,035</td> <td>925千人</td> </tr> </tbody> </table> <p>人口の社会増減（暦年）（人）</p> <table border="1" data-bbox="943 533 1401 672"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲1,381</td> <td>▲2,969</td> <td>1,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>県外からの移住者数〔累計〕（人）</p> <table border="1" data-bbox="943 750 1401 907"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28～R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R3～R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,951</td> <td>2,780</td> <td>12,400</td> </tr> </tbody> </table> <p>若者の社会増減（前年10月～当年9月）（人）</p> <table border="1" data-bbox="943 985 1401 1124"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲1,810</td> <td>▲2,460</td> <td>251</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学卒業生の県内就職率（再掲）（%）</p> <table border="1" data-bbox="943 1202 1401 1364"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43.3</td> <td>44.5</td> <td>52.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>市町と連携を図りながら、「かがわ暮らしの魅力の情報発信」、「住まいや仕事などのマッチング」、「定住支援」の各施策を総合的に実施し、これらの取組み等により、令和3年度の移住者数は2,780人と過去最多となった。</p>			基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	951,049	942,035	925千人	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	▲1,381	▲2,969	1,000人	基準値 (H28～R2)	実績値 (R3)	目標値 (R3～R7)	8,951	2,780	12,400	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	▲1,810	▲2,460	251	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	43.3	44.5	52.0
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																															
951,049	942,035	925千人																															
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																															
▲1,381	▲2,969	1,000人																															
基準値 (H28～R2)	実績値 (R3)	目標値 (R3～R7)																															
8,951	2,780	12,400																															
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																															
▲1,810	▲2,460	251																															
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)																															
43.3	44.5	52.0																															

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>④プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業（34,654千円） 「プロフェッショナル人材戦略拠点」の運営を公益財団法人かがわ産業支援財団へ委託し、県外の潜在的なUJIターン希望者等と地域企業の求人のマッチングを促進した。</p> <p>(6) 香川に移住！民間賃貸住宅借上げ支援事業（43,201千円） 香川に移住し、民間賃貸住宅に居住する場合に、市町と連携し、家賃と礼金等の一部を助成した。</p> <p>(7) 空き家バンク運営事業（51,440千円） 空き家バンクへの登録を条件として、市町と連携し、空き家の改修・家財の処分費等に対して助成するとともに、空き家バンクへ登録する際に、建築士による無料の個別相談や現地確認、助言を行った。</p> <p>(8) 地方創生テレワークによる移住促進事業（4,716千円） 市町や事業者等によるサテライトオフィス等の開設を支援するとともに、企業への情報発信を実施した。</p> <p>(9) 定住支援サポーター設置事業 移住後の相談窓口となる「定住支援サポーター」を引き続き設置するなど、移住促進施策との相互連携を図りつつ定住支援の充実に努めた。</p>	<p>プロフェッショナル人材戦略拠点における、民間の人材紹介事業者と連携した、企業訪問によるニーズの掘り起こしやマッチングの促進により、令和3年度の県外人材のマッチング成約件数は49件となった。</p> <p>移住希望者の住まいの確保を支援するため、関係機関と連携して、住まいに関する相談対応を総合的に行うことにより、空き家の成約件数（売買及び賃貸）は、平成30年度から令和3年度までの累計で1,656件となった。</p>												
<p>地域づくり推進事業（1-2-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 魅力ある地域づくりに向けて、地域住民等が主体となった地域づくり活動の推進に努めた。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 地域コミュニティ活性化支援事業（12,075千円） 個性豊かで活力ある地域づくりを推進するため、地域づくり団体が新たに取り組む魅力ある地域づくりに対して経費の一部を助成するとともに、地域づくり実践者等を対象とした研修会を開催した。 また、県の地域おこし協力隊が中心となって、県内で地域づくり活動に取り組む団体等の情報発信等を行った。</p> <p>(2) 市町地域づくりモデル事業（2,574千円） 地域活力の向上を図るため市町が取り組む先進的又はモデル的な事業に対し、その経費の一部を助成した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県内で活動する地域おこし協力隊員数 (人)</p> <table border="1" data-bbox="938 1312 1401 1469"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>57</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <p>※特別交付税ベースの人数</p> <p>地域運営組織の組織数 (組織)</p> <table border="1" data-bbox="938 1592 1401 1749"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>83</td> <td>83</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	45	57	53	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	83	83	96
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)											
45	57	53											
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)											
83	83	96											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(3) 関係人口創出・拡大事業 (1,278 千円)</p> <p>小豆島において、地元自治体・NPO 法人・企業・大学等と連携し、関係人口創出に係る実証事業として、県外の企業と小豆島内事業者が連携し、地域課題に向けた意見交換を行った。また、市町の地域コミュニティ担当者向けに関係人口に係る勉強会を開催し、効果的な関係人口創出に向けた理解醸成を図った。</p> <p>(4) 過疎地域対策事業 (450 千円)</p> <p>過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法により指定された市町における、地域資源を活用し過疎地域の持続的発展を図る取組みを支援した。</p> <p>(5) 離島活性化推進等事業 (2,347 千円)</p> <p>各島の魅力を広く情報発信するフェアやワークショップを開催するとともに、離島情報誌へ県内離島への移住体験等の特集記事を掲載する等、積極的な情報発信を行った。</p>	

2. 課総括表

課名：予算課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-3-1	予算課運営費	174,625	171,037		3,588	予算課の運営に要する経費等 給料80,447、職員手当等49,698、 共済費32,449
1-3-2	予算調整事業費	16,428,658	16,427,359		1,299	予算調整にかかる事務等に要する 経費 基金積立金16,419,547
1-3-3	元金（公債費）	55,669,553	55,669,552		1	一般会計県債の償還元金
1-3-4	利子（公債費）	4,285,020	4,244,519		40,501	一般会計県債の利子及び一時借入 金の利子
1-3-5	公債諸費	62,841	21,708		41,133	県債の借入及び償還事務等に要す る経費
1-3-6	予備費	50,000			50,000	
	課計	76,670,697	76,534,175		136,522	

3. 職員数の状況（R4.3.31現在）

課名：予算課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
予算課	21		21	
合計	21		21	

2. 課総括表

課名：自治振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-4-1	小豆総合事務所運営費	74,836	74,046		790	小豆総合事務所の運営に要する経費 給料28,013、職員手当等20,638、共済費10,398
1-4-2	小豆総合事務所自家発電設備修繕等事業	21,883	1,484	20,098	301	小豆総合事務所自家発電設備の基礎上げと修繕に要する経費
1-4-3	香川県権限移譲等交付金事業	74,435	74,389		46	県の権限の市町への移譲等に伴う交付金
1-4-4	住民基本台帳ネットワークシステム運営事業	55,397	54,829		568	住民基本台帳ネットワークシステムの運営に要する経費
1-4-5	マイナンバーカード普及促進事業	1,713	1,575		138	主要施策の成果の概要(1-4-5)に記載
1-4-6	自治振興課運営費	262,931	262,737		194	自治振興課の運営に要する経費 給料114,088、職員手当等72,099、共済費41,471
1-4-7	市町職員研修費	10,293	10,293			市町職員の研修に要する経費
1-4-8	市町行財政税務連絡調整費	3,436	2,903		533	市町行財政等の連絡調整等に要する経費
1-4-9	市町振興費	6,114	5,153		961	市町の行財政運営等の支援に要する費用
1-4-10	市町村振興宝くじ交付金	370,536	370,536			主要施策の成果の概要(1-4-10)に記載
1-4-11	選挙管理委員会費	27,324	27,096		228	県選挙管理委員会の運営に要する経費 給料12,608、職員手当等6,693、共済費4,135、委員報酬3,276
1-4-12	選挙啓発費	3,964	3,683		281	選挙常時啓発事業等の推進に要する経費
1-4-13	衆議院議員選挙費	519,077	500,731		18,346	主要施策の成果の概要(1-4-13)に記載
1-4-14	最高裁判所裁判官国民審査費	5,876	5,715		161	最高裁判所裁判官国民審査(令和3年10月31日執行)に要する経費
	課計	1,437,815	1,395,170	20,098	22,547	

3. 職員数の状況 (R4. 3. 31現在)

課名：自治振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
自治振興課	[1] (17) 19	[6] 7	[7] (17) 26	市町派遣職員17名、選挙管理委員会事務局併任職員2名、休職1名
小豆総合事務所総務課	[1] (2) 8	7	[1] (2) 15	
合計	[2] (19) 27	[6] 14	[8] (19) 41	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を [] 内書きにより、当該所属以外で勤務する者を () 外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>マイナンバーカード普及促進事業（1-4-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードが令和4年度末にはほぼ全県民に行き渡ることを目指し、マイナンバーカード普及促進の取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) マイナンバーカード普及促進事業（1,575千円） マイナンバーカードの交付申請を促す広報を実施するとともに、申請機会の拡大を図るため市町と合同で出張申請会場を設置した。</p>	<p>新聞広告や啓発グッズの配布による広報を実施したほか、市町と合同で丸亀町商店街に出張申請会場を設置したことにより、マイナンバーカードの交付枚数率の向上に寄与した。</p>
<p>市町村振興宝くじ交付金（1-4-10）</p> <p>1. 趣旨・概要 市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ等）及び新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンボ宝くじ等）の収益金等の全額 370,536 千円を、市町の財源等として活用するため（公財）香川県市町村振興協会に交付した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 収益金等の内訳 令和3年度収益金 341,606 千円 令和2年度時効金 28,930 千円</p> <p>(2) （公財）香川県市町村振興協会の事業 県からの交付金を受け入れ、市町が公共事業等を行うための地方債資金等として活用したほか、市町に交付金として配分した。</p>	<p>県から（公財）香川県市町村振興協会へ交付したサマージャンボ宝くじ収益金等 217,756 千円は市町への低利の地方債資金等として活用され、また、ハロウィンジャンボ宝くじ収益金等は全額 152,780 千円が市町に配分され、市町の一般財源として活用された。</p>
<p>衆議院議員選挙費（1-4-13）</p> <p>1. 趣旨・概要 衆議院議員総選挙（令和3年10月31日執行）の管理執行を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 衆議院議員選挙立会人等報酬（316千円） 衆議院議員総選挙における選挙立会人等に対する報酬を支出した。</p> <p>(2) 職員給与費（衆議院議員選挙）（7,450千円） 衆議院議員総選挙の執行に要する人件費を支出した。</p> <p>(3) 衆議院議員選挙事務費（37,596千円） 衆議院議員総選挙の執行に要する事務費を支出した。</p>	<p>関係法令に従い、衆議院議員総選挙（令和3年10月31日執行）の適正な管理執行を行った。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(4) 選挙公営負担金 (73,157 千円) 候補者が行う選挙運動に要する経費の公費負担を行った。</p> <p>(5) 市町交付金 (衆議院議員選挙) (377,388 千円) 市町が行う選挙事務に要する経費を交付した。</p> <p>(6) 不在者投票特別経費 (4,824 千円) 指定施設等における不在者投票に要した経費の公費負担を行った。</p>	

2. 課総括表

課名：水資源対策課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-5-1	水資源対策の推進	(515, 457) 1, 842, 354	(502, 244) 1, 236, 050	569, 826	(13, 213) 36, 478	主要施策の成果の概要 (1-5-1)に記載
1-5-2	全国水利用動態調査費	716	716			国からの委託による水資源対策に関する資料の収集整理に要する経費
1-5-3	水資源対策課運営費	759, 793	749, 888		9, 905	水資源対策課の運営等に要する経費 給料380, 241、職員手当等235, 215、共済費129, 914
1-5-4	かがわ水循環社会形成事業	307	42		265	水の有効利用の促進と節水意識の高揚を図るための取組み検討に要する経費
1-5-5	水道法施行等指導事業	698	623		75	水道法施行等指導事務費
1-5-6	早明浦ダム災害復旧費負担金	3, 000	3, 000			早明浦ダムの災害復旧工事に対する負担金
	課計	(515, 457) 2, 606, 868	(502, 244) 1, 990, 319	569, 826	(13, 213) 46, 723	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R4. 3. 31現在)

課名：水資源対策課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
水資源対策課	9	(85) 1	(85) 10	香川県広域水道企業団派遣85名
合計	9	(85) 1	(85) 10	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>水資源対策の推進（1-5-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 安心して暮らせる水循環社会の確立をめざして安全な水の安定的供給に資する事業など総合的な水資源対策を推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 香川用水水源の森保全事業（26,046千円） 香川用水の水源地域である吉野川上流域の森林の水源かん養機能を保持するため、高知県嶺北地域で行われた森林の除間伐等に対し助成した。</p> <p>(2) 香川用水の水源巡りの旅事業（1,003千円） 香川用水や水資源の重要性についての認識を深めるとともに、水源地域との交流を促進するため、中学1年生が早明浦ダム等の香川用水関連施設を見学する学校行事等を支援した。</p> <p>(3) 水道施設整備事業（1,208,179千円） 新たな水道水源を確保するためのダム開発や老朽化した水道施設の更新・耐震化など、香川県広域水道企業団が行う水道施設整備事業に対し助成を行った。 ①水道水源開発施設整備事業（107,599千円） ②生活基盤施設耐震化等交付金事業（1,099,429千円） ③市町水道渇水対策事業（1,151千円）</p> <p>(4) 節水型街づくり推進事業（822千円） 水の有効利用を図るため、要綱に基づき雑用水利用施設の設置指導を行うとともに、県民の節水意識を高めるため、節水型街づくり推進協議会を通じて各種啓発活動を実施した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県内上水道施設（基幹的な水道管）の耐震管率（%）</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1401 495"> <thead> <tr> <th>基準値 (R元)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.3</td> <td>23.9</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>普段の生活で節水している人の割合（%）</p> <table border="1" data-bbox="943 613 1401 754"> <thead> <tr> <th>基準値 (R元)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80.6</td> <td>80.6</td> <td>84以上</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R元)	実績値 (R2)	目標値 (R7)	23.3	23.9	33	基準値 (R元)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	80.6	80.6	84以上
基準値 (R元)	実績値 (R2)	目標値 (R7)											
23.3	23.9	33											
基準値 (R元)	実績値 (R3)	目標値 (R7)											
80.6	80.6	84以上											

2. 課総括表

課名：統計調査課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-6-1	統計調査総務費	188,957	185,201		3,756	統計専任職員の給与費及び事務費等 給料95,913、職員手当等49,797、共済費30,630
1-6-2	人口経済統計費	160,076	138,243		21,833	総務省所管基幹統計調査等に要する経費
1-6-3	労働統計費	17,377	16,780		597	厚生労働省所管基幹統計調査に要する経費
1-6-4	農林水産統計費	1,433	1,433			農林水産省所管基幹統計調査委託費の精算に伴う返還金
1-6-5	教育統計費	1,056	782		274	文部科学省所管基幹統計調査に要する経費
1-6-6	地方統計費	3,373	2,543		830	県単独調査、統計資料作成に要する経費
	課計	372,272	344,982		27,290	

3. 職員数の状況 (R4. 3. 31現在)

課名：統計調査課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
統計調査課	26	2	28	
合計	26	2	28	

2. 課総括表

課名：男女参画・県民活動課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-7-1	共助の社会創造事業	41,598	38,166		3,432	主要施策の成果の概要 (1-7-1)に記載
1-7-2	男女参画・県民活動課運営費	54,989	54,704		285	男女参画・県民活動課の運営に要する経費 給料28,451、職員手当等15,749、共済費9,857
1-7-3	男女共同参画社会形成促進事業	12,342	11,160		1,182	主要施策の成果の概要 (1-7-3)に記載
1-7-4	女性活躍促進事業	16,903	15,548		1,355	主要施策の成果の概要 (1-7-4)に記載
	課計	125,832	119,578		6,254	

3. 職員数の状況 (R4. 3. 31現在)

課名：男女参画・県民活動課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
男女参画・県民活動課	7	2	9	
合計	7	2	9	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>共助の社会創造事業（1-7-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 地域団体活動やボランティア・NPO活動の促進、県民・NPOとの協働の推進、共助意識の啓発など、「共助の社会」の実現に向けての取組みを進めた。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 共助の社会きっかけづくり事業（78千円） ホームページ「かがわ共助のひろば」や総合受付窓口「NPOネットワークプラザ」の運営等により、ボランティアやNPOの活動情報等を収集・発信し、共助の社会づくりについて普及啓発事業を行った。</p> <p>(2) 共助の社会ひろがりづくり事業（77千円） ①ボランティア・NPO活動促進事業 優れたボランティア活動に対する顕彰を行い、受賞活動を広く周知した。 ②ボランティア・NPO協働推進事業 行政とNPOとの協働を進めるため、意見交換会を開催した。</p> <p>(3) NPO法人運営のためのステップアップ事業（435千円） NPO法人の運営を支援するため、相談窓口を開設し、さまざまな相談に対応するとともに、公認会計士の派遣を行った。</p> <p>(4) 災害ボランティア等との連携強化事業（264千円） 被災地において、災害ボランティアが効率的かつ効果的に活動するため、行政、社会福祉協議会等関係機関と災害時の情報共有のための訓練を実施した。</p> <p>(5) NPO法人活動促進事業（405千円） ①NPO法人認証等事業 NPO法人の設立認証及び設立後の指導監督を行った。 ②認定NPO法人等認定等事業 「認定NPO法人」及び「特例認定NPO法人」の認定等に関する事務を行った。</p> <p>(6) NPO基金管理運営事業（36,907千円） 個人や企業からの寄附金を「香川県特定非営利活動促進基金（NPO基金）」に積み立て、これを財源としてNPO法人の活動資金を助成した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>認定（特例認定）特定非営利活動法人数（法人）</p> <table border="1" data-bbox="938 353 1401 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>8</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>ボランティア大賞受賞者 一般部門 2個人 2団体</p> <p>テーマ：「子どもと保護者の育ちを支援する地域でのつながりづくり」 参加団体数：16団体</p> <p>NPO等の相談窓口事業 48件 専門家派遣件数 1件</p> <p>参加者：香川県、三豊市、観音寺市、香川県社会福祉協議会、三豊市社会福祉協議会、観音寺市社会福祉協議会、三豊ライオンズクラブ、日本赤十字社香川県支部、香川大学等</p> <p>①NPO法人数（年度末） 394法人</p> <p>②認定（特例認定）NPO法人数（年度末） 認定 7法人 特例認定 1法人</p> <p>基金登録団体数（年度末）85団体 補助金額 ・団体指定寄附 4,514,144円（8団体） ・分野指定寄附 25,884,359円（16団体）</p>	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	8	8	13
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)					
8	8	13					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>男女共同参画社会形成促進事業（1－7－3）</p> <p>1. 趣旨・概要 「香川県男女共同参画推進条例」を基本指針として、男女共同参画社会の形成と豊かで活力ある地域社会の実現を目指し、「第4次かがわ男女共同参画プラン」及び「第4次香川県配偶者暴力防止及び被害者支援計画」の策定及び各種事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 男女共同参画社会づくり推進事業（1,367千円）</p> <p>①男女共同参画広報啓発事業 男女共同参画週間等におけるパネル展の開催や、新たに策定した「第4次かがわ男女共同参画プラン」及び「第4次香川県配偶者暴力防止及び被害者支援計画」の周知など、男女共同参画意識の醸成のための広報啓発を行った。</p> <p>②男女共同参画推進員事業 地域で男女共同参画を推進するため、「かがわ男女共同参画推進員」42名（各市3名、各町2名）を配置し、推進活動を展開した。</p> <p>③配偶者暴力防止啓発事業 啓発用リーフレット等を活用して、配偶者からの暴力を許さない社会づくりに向けた広報・啓発を行った。</p> <p>④第4次かがわ男女共同参画プラン策定事業 令和3年10月に「第4次かがわ男女共同参画プラン」及び「第4次香川県配偶者暴力防止及び被害者支援計画」を策定した。</p> <p>⑤男女共同参画社会づくり行動促進事業 男女共同参画社会の実現に向け、地域や家庭における一人ひとりの具体的な行動を促すため、新しい生活様式における男女共同参画セミナーを実施した。</p> <p>(2) 男女共同参画相談プラザ事業（9,793千円） 香川県社会福祉総合センター3階の「かがわ男女共同参画相談プラザ」において、性別による差別的取扱いなどに関する県民の悩みや相談に適切に対応するとともに情報提供などを行った。</p>	<p>3. 指標 社会全体における男女の地位について「平等」と答えた者の割合（%）</p> <table border="1" data-bbox="914 353 1414 519"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.3 (R元)</td> <td>—</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>配偶者等から暴力を受けた経験がある被害者の相談先について「どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた者の割合（%）</p> <table border="1" data-bbox="914 1205 1414 1370"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36.4 (R元)</td> <td>—</td> <td>18.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>男女共同参画社会づくり行動促進事業参加者数 31人</p> <p>かがわ男女共同参画相談プラザ相談件数 1,508件 (一般相談1,506件、特別相談2件)</p>	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	14.3 (R元)	—	20	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	36.4 (R元)	—	18.2
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)											
14.3 (R元)	—	20											
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)											
36.4 (R元)	—	18.2											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>女性活躍促進事業（1－7－4）</p> <p>1. 趣旨・概要 女性が活躍するために必要な情報を得られる環境をつくとともに、セミナー等を開催して意識の啓発を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 情報発信事業（264 千円） 女性の活躍について情報を発信する特設ホームページ「かがわ女性の輝き応援団」において、県内女性の活躍に関する情報等の幅広い発信を行った。</p> <p>(2) 女性リーダー養成事業（1,096 千円） 政策・方針決定過程などさまざまな分野へ参画し、リーダーとして責任を果たせる人材を養成するため、「女性リーダー養成講座」として連続4回の講座等を実施した。</p> <p>(3) 男女共同参画協働事業（677 千円） 地域リーダー等の資質の向上を図るとともに、男女共同参画の視点からの課題解決に取り組むため、特定課題について、NPO、地域団体等から提案のあった事業を協働して実施した。</p> <p>(4) 未来をつくるリケジョフェスタ in かがわ開催事業（1,496 千円） 次代を担う理工系女性人材の裾野の拡大を図るため、進路の選択を行う女子中高生を対象として、女性研究者等のトークショーを新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、オンライン配信した。</p> <p>(5) 性暴力被害者支援センター「オリーブかがわ」運営事業（12,015 千円） 女性の安全・安心対策を推進するため、性暴力被害者支援センター「オリーブかがわ」を運営した。</p>	<p>3. 指標 県の審議会等に占める女性委員の割合 (%)</p> <table border="1" data-bbox="914 353 1412 515"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35.8</td> <td>36.3</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>女性リーダー養成事業参加者数 36人</p> <p>男女共同参画協働事業参加者数 279人</p> <p>参加申込者数 56人</p> <p>相談実績 相談件数 515件 付添支援 9件</p>	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	35.8	36.3	40
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)					
35.8	36.3	40					

2. 課総括表

課名：文化振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-8-1	職員給与費 (文化振興課)	135,922	135,922			文化振興課職員の給与費 給料69,478、職員手当等41,825、 共済費24,619
1-8-2	文化芸術総務費	9,085	9,002		83	文化振興課の運営に要する経費
1-8-3	文化芸術活動振 興事業	39,398	10,405	25,000	3,993	主要施策の成果の概要 (1-8-3)に記載
1-8-4	藝大連携美術展 開催事業	4,314	4,167		147	主要施策の成果の概要 (1-8-4)に記載
1-8-5	さぬき映画祭事 業	14,000	8,520		5,480	主要施策の成果の概要 (1-8-5)に記載
1-8-6	県民ホール事業	(3,644) 334,111	(1,989) 317,832		(1,655) 16,279	主要施策の成果の概要 (1-8-6)に記載
1-8-7	県立ミュージア ム事業	(67,200) 521,347	(65,899) 507,685		(1,301) 13,662	主要施策の成果の概要 (1-8-7)に記載
1-8-8	東山魁夷せとう ち美術館事業	62,585	61,394		1,191	東山魁夷せとうち美術館の運営等 に要する経費 給料13,990、職員 手当等8,561、共済費4,822
1-8-9	漆芸研究所事業	77,204	75,170		2,034	漆芸研究所の運営等に要する経費 給料21,879、職員手当等10,853、 共済費6,366
1-8-10	香川漆芸活性化 推進事業	10,415	9,858		557	主要施策の成果の概要 (1-8-10)に記載
1-8-11	世界遺産登録推 進事業	13,656	12,204		1,452	主要施策の成果の概要 (1-8-11)に記載
1-8-12	新しい生活様式 のもと頑張る文化 芸術活動支援事業	(20,900) 25,350	(20,900) 24,020		1,330	主要施策の成果の概要 (1-8-12)に記載
1-8-13	県有施設の臨時 休館・休園への 対応	4,616	4,616			臨時休館に伴い影響を受けた施設 内事業者の支援に要する経費
1-8-14	香川県文化芸術 振興基金事業	200,000	200,000			文化芸術の振興のための財源を確 保するため、香川県文化芸術振興 基金へ積み立てるもの
	課計	(91,744) 1,452,003	(88,788) 1,380,795	25,000	(2,956) 46,208	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R4.3.31現在)

課名：文化振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
文化振興課	(1) 17	[1]	3 [1] (1) 20	
県立ミュージアム	(4) 24	[2] (2) 10	[2] (6) 34	育児休業1名
東山魁夷せとうち美術館	[1] 3	1	[1] 4	
漆芸研究所	[3] 5	[1] (3) 14	[4] (3) 19	
合計	[4] (5) 49	[4] (5) 28	[8] (10) 77	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を [] 内書きにより、当該所属以外で勤務する者を () 外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>文化芸術活動振興事業（1－8－3）</p> <p>1. 趣旨・概要 本県の文化芸術の振興を図るため、文化表彰等の事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 文化表彰事業等（9,227千円） 文化功労者2名、文化芸術選奨2名を表彰した。将来、県の文化芸術の振興に貢献することが期待される若手芸術家3名に文化芸術新人賞を授与するとともに、平成29年度、令和元年度受賞者による演奏会等を開催した。また、文化芸術振興審議会の開催等を行った。</p> <p>(2) 「日本青少年交響楽団」香川大会開催事業 (1,178千円) (公社)日本アマチュアオーケストラ連盟が本県で開催する「日本青少年交響楽団」コンサート及びトヨタ青少年オーケストラキャンプの支援を行った。 新型コロナウイルス感染症の拡大のため、コンサート・キャンプは中止となったが、代替としてオンライン交流会を開催した。</p>	<p>文化芸術新人賞受賞者による演奏会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度受賞（音楽分野1名） 8月29日 レクザムホール・大ホール 入場者数 292名 ・令和元年度受賞者（美術分野2名） 2月5日～20日 香川県文化会館 入場者数 1,063名 <p>開催日：3月27日</p>
<p>藝大連携美術展開催事業（1－8－4）</p> <p>1. 趣旨・概要 東京藝術大学と連携した美術展覧会等を開催するほか文化芸術活動を通じて地域の活性化を担う人材の育成を図った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 藝大連携美術展開催事業（4,167千円） 東京藝術大学と連携し、「TOKYO GEIDAI ART FES BY AUGMENTED REALITY IN 善通寺」を開催した。善通寺市観光交流センターでのリアル展示に加え、善通寺市の街中にAR（拡張現実）スポットを設けて、まち歩きをしながらスマートフォン等を使って、屋外の開放的な空間で作品を鑑賞いただくAR展示を開催した。</p>	<p>開催日</p> <p>リアル展示：11月6日～11月14日 AR展示：11月6日～12月26日</p> <p>リアル展示入場者数 328名 ARアプリダウンロード者数 406名</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>さぬき映画祭事業（1-8-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 香川にゆかりのある映画の上映会や関連イベント、人材育成のための講座等を開催し、映画・映像による地域文化の振興と地域の活性化を図った。</p> <p>2. 具体的内容（8,520千円）</p> <p>(1) 映画祭2022の上映会及び関連イベントの開催 香川県出身の監督・俳優が制作・出演している作品や香川県でロケが行われた作品など、「さぬき」にこだわった作品上映や多彩なゲストを招いたゲストトークを実施した。</p> <p>(2) シナリオ講座 プロのシナリオライターや映画監督を講師として招き、シナリオ技術を学ぶ講座を実施した。</p> <p>(3) シナリオコンクール 映画化を前提としたシナリオ執筆者の裾野をより広げるため、香川県在住者もしくは出身者を対象としたシナリオコンクールを実施した。</p> <p>(4) 映画ゼミナール 映画の魅力や鑑賞のツボをわかりやすく紹介する講座を3回シリーズで開催した。また、講座の様子を収録したダイジェスト版を、公式ホームページでオンライン配信した。</p> <p>(5) 映画制作講座 映画監督を講師として招き、県内の高等学校放送部員が、創作テレビドラマの制作を実践的に学んだ。</p>	<p>効果・評価</p> <p>2月5日、6日の2日間開催</p> <p>入場者数 771名</p> <p>オンライン再生回数 413回</p> <p>上映作品数 16本</p> <p>シナリオ講座受講者数 19名 (全7回)</p> <p>シナリオコンクール応募数 33作品</p> <p>映画ゼミナール参加者数 33名 (のべ 82名)</p> <p>映画制作講座参加者数 4校 18名</p>						
<p>県民ホール事業（1-8-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民のニーズに沿った音楽や舞踊などの優れた舞台芸術を鑑賞する機会の充実を図るため、県民ホールにおいて、文化事業を実施するとともに、同施設の管理運営を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 県民ホール文化事業（13,620千円）</p> <p>①舞台芸術鑑賞事業 「かがわジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ（KJO）第20回定期演奏会」、「上原彩子ピアノリサイタル」の舞台芸術公演を開催した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>かがわ文化芸術祭の参加団体数 〔累計〕 (団体)</p> <table border="1" data-bbox="938 1644 1412 1809"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28~R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R3~7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>446</td> <td>63</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>①入場者数</p> <p>KJO定期演奏会 292名</p> <p>上原彩子ピアノリサイタル 506名</p>	基準値 (H28~R2)	実績値 (R3)	目標値 (R3~7)	446	63	500
基準値 (H28~R2)	実績値 (R3)	目標値 (R3~7)					
446	63	500					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>②舞台芸術人材育成事業</p> <p>ジュニア・オーケストラの育成を図るとともに、東京藝術大学連携事業「かがわ音楽アカデミー」のコンクールや公開講座、同大学の「早期教育プロジェクト in 香川」を実施し、県内の児童・生徒らが、国内外の第一線で活躍する指導者から直接指導を受ける貴重な機会を得た。</p> <p>(2) 県民ホール管理運営費 (245,000 千円) 指定管理者による施設の管理運営を行った。</p> <p>(3) 県民ホール舞台業務委託事業 (47,530 千円) 舞台芸術公演に際し効果的な演出を行うため、照明、音響、舞台機構等の舞台業務委託を行った。</p> <p>(4) 県民ホール施設改善費 (11,682 千円) 小ホール棟冷温水発生機の修繕、大ホール棟舞台照明設備更新修繕等を行った。</p>	<p>②ジュニア・オーケストラ団員数</p> <table border="1" data-bbox="986 277 1244 353"> <tr> <td>合奏コース</td> <td>58 名</td> </tr> <tr> <td>基礎コース</td> <td>62 名</td> </tr> </table>	合奏コース	58 名	基礎コース	62 名		
合奏コース	58 名						
基礎コース	62 名						
<p>県立ミュージアム事業 (1-8-7)</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>県立ミュージアムにおいて、大規模な展覧会を開催するなど、優れた美術作品や歴史的資料を鑑賞する機会の充実を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 大規模展事業 (22,640 千円)</p> <p>① 「空間に生きる画家 猪熊弦一郎—民主主義の生活空間と造形の試み」</p> <p>② 「近代香川を生み出したまち 多度津ものがたり」</p> <p>(2) 展示企画費等 (13,885 千円) 第 68 回日本伝統工芸展や常設展を企画・開催した。</p> <p>(3) 教育普及、資料管理、調査研究事業等 (2,538 千円) 各種講演、ワークショップ等を実施した。</p> <p>(4) 職員給与費、会計年度任用職員人件費等 (216,896 千円) 県立ミュージアム本館・瀬戸内海歴史民俗資料館・文化会館の人件費</p> <p>(5) その他管理費 (143,001 千円) 県立ミュージアムの施設の管理運営を実施した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県立文化施設の特別展の入場者数 〔累計〕 (人)</p> <table border="1" data-bbox="938 1122 1414 1285"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28~R2)</th> <th>実績値 (R 3)</th> <th>目標値 (R3~7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>227,718</td> <td>13,012</td> <td>240,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>開催実績・入館者数</p> <p>① 4月17日～7月4日 2,743 名 ※臨時休館 5/3～31、 6/5・6・12・13・19・20 (臨時休館による会期延長 (当初 4/17～6/6))</p> <p>② 9月18日～11月23日 4,907 名 ※臨時休館 9/18～30、10/2・3</p>	基準値 (H28~R2)	実績値 (R 3)	目標値 (R3~7)	227,718	13,012	240,000
基準値 (H28~R2)	実績値 (R 3)	目標値 (R3~7)					
227,718	13,012	240,000					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(6) 歴史民俗資料館運営事業 (12,378 千円) 瀬戸内海歴史民俗資料館において、資料収集、調査研究、教育普及などを実施した。</p> <p>(7) 文化会館運営事業 (18,758 千円) 文化会館において、文化芸術活動の場として広く利用できるよう管理運営を実施した。</p> <p>(8) 歴民機械室改修事業等 (77,589 千円) 瀬戸内海歴史民俗資料館の機械室改修及び展示室のトイレ改修等を行った。</p>	
<p>香川漆芸活性化推進事業 (1-8-10)</p> <p>1. 趣旨・概要 香川漆芸のブランド化を図るため、情報発信や漆芸作品の販路拡大、若手漆芸作家の制作活動等の支援を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 香川漆芸魅力発信戦略事業 (9,272 千円)</p> <p>①情報発信事業 富裕層の購読者が多い雑誌「家庭画報」とのタイアップにより、人間国宝の香川漆芸作家とイタリアの老舗ハイジュエリーブランド「ブチュラッティ」とのコラボ企画において、同社のブローチを納めるジュエリーボックスを制作し、都内のショップで販売した。</p> <p>②漆芸作品販売拠点整備事業 毎年3月に開催されている国内最大級のアートの見本市「アートフェア東京2022」に、漆芸研究所のブースを出展し、香川漆芸のPRを行うとともに、若手漆芸作家が出展・販売を行った。また、県内においても栗林庵や文化会館の漆芸コーナーで若手漆芸作家の作品を展示販売した。</p> <p>③漆芸研究所修了作品貸出事業 漆芸研究所が所有する修了作品を、本県にゆかりのある県内外の企業・団体に対し、一定期間無償で貸し出し、展示してもらうことにより、より多くの方に香川漆芸の魅力を知っていただく機会を創出した。</p> <p>(2) 若手漆芸作家支援事業 (586 千円) 香川漆芸のブランド化を図るため、若手漆芸作家に対し、作品の展示発表会等に係る経費の支援を行った。</p>	<p>県内外での香川漆芸の認知度向上、ブランド力の強化に繋がった。</p> <p>①「家庭画報」の情報発信力、ブチュラッティのブランド力の相乗効果で、「香川漆芸」の魅力を実効果的にPRできた。</p> <p>②アートフェア東京2022 出品者 若手漆芸作家2名 来場者 2,549名</p> <p>③修了作品貸出実績 貸出先数 17の企業・団体 貸出点数 46点</p> <p>交付実績 7名</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>世界遺産登録推進事業（1－8－11）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>四国遍路の世界遺産登録に向けて、札所寺院の史跡指定のための詳細調査を実施するとともに、所有者や関係市町と調整を行い、史跡指定の準備を進めたほか、地域コミュニティの参画を促すための取組みなどを実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 世界遺産登録推進事業（12,204千円）</p> <p>①札所寺院・遍路道調査事業</p> <p>道隆寺や國分寺の詳細調査を実施し、史跡指定に向けての資料を収集するとともに、志度寺（第2分冊）と金倉寺（第1分冊）の調査報告書を刊行した。</p> <p>また、神恵院・観音寺や根香寺の詳細調査の成果を地域の方々にわかりやすく説明するため、地域住民等を対象に調査報告会を、地元小学生に見学授業を開催したほか、多度津町で四国遍路を生かしたまちづくりのヒントを学ぶための講座を開催した。</p> <p>四国遍路世界遺産登録推進協議会の取組みとして、「普遍的価値の証明」部会において、研究会や検討会を開催し、様々な分野の専門家を交えて、四国遍路の価値や構成資産を検討したほか、「資産の保護措置」部会において、重要文化的景観の保護手法等について検討を行うなど、課題解決に向けた取組みを進めた。</p> <p>②日本遺産登録推進事業</p> <p>日本遺産に認定されている「四国遍路」をPRするため、11月13・14日に石川県小松市で開催された日本遺産サミットに出展するとともに、県内の日本遺産に認定された市町に対し、補助事業や情報発信に対する助言などの支援を行った。</p> <p>なお、令和3年度から日本遺産の認定を更新する仕組みが導入され、「四国遍路」は6月に日本遺産審査・評価委員会による調査を受け、同委員会による審査を経て、7月に文化庁から認定継続の通知を受けた。</p>	<p>3. 指標</p> <p>札所寺院および遍路道の保護措置数 (か所)</p> <table border="1" data-bbox="938 353 1412 510"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>8</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>①調査報告会参加者数</p> <p>神恵院・観音寺 32名 根香寺 33名 見学授業参加児童数 神恵院・観音寺 84名（観音寺小学校6年） 根香寺 35名（下笠居小学校6年） まちづくり講座参加者数 137名</p>	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	8	8	19
基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)					
8	8	19					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>新しい生活様式のもと頑張る文化芸術活動支援事業 (1-8-12)</p> <p>1. 趣旨・概要 新しい生活様式のもと、県内で行われる文化芸術活動を支援するとともに、県民ホール環境整備を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 新しい生活様式のもと頑張る文化芸術活動支援事業 (24,020千円)</p> <p>①新しい生活様式のもと頑張る文化芸術活動支援事業 かがわ文化芸術祭に参加する団体等の地域の文化芸術活動を支援した。</p> <p>②魅力ある舞台芸術再興支援事業 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した、県民の文化芸術の鑑賞機会を確保するため、魅力的な興行を企画・実施する事業者を開催経費の一部を支援した。</p> <p>③県民ホールライブ配信環境整備事業 新しい生活様式に対応したこれからの鑑賞形態・会議形態に対応できるよう、ライブ配信ができる環境を県民ホールに整備した。</p>	<p>①交付実績 26件</p> <p>②交付実績 2件</p>

2. 課総括表

課名：瀬戸内国際芸術祭推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-9-1	職員給与費	126,417	125,997		420	瀬戸内国際芸術祭推進課職員の給与費等 給与費62,889、職員手当等38,167、共済費22,483
1-9-2	瀬戸内国際芸術祭推進総務費	6,946	6,093		853	瀬戸内国際芸術祭推進課の運営に要する経費
1-9-3	瀬戸内国際芸術祭推進事業	178,989	176,766		2,223	主要事業の成果の概要(1-9-3)に記載
	課計	312,352	308,856		3,496	

3. 職員数の状況 (R4. 3. 31現在)

課名：瀬戸内国際芸術祭推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
瀬戸内国際芸術祭推進課	(1) 20	[8] 8	[8] (1) 28	文化振興課兼務職員1名、市町派遣職員8名
合計	(1) 20	[8] 8	[8] (1) 28	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を「」内書きにより、当該所属以外で勤務する者を（ ）外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>瀬戸内国際芸術祭推進事業（1-9-3）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>令和4年4月開幕の「瀬戸内国際芸術祭 2022」に向け、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、着実に準備を進めるとともに、過去の芸術祭作品をアート資源として公開し、各種イベント等を開催する「ART SETOUCHI」活動を実施し、島々の活性化や芸術文化によるにぎわいづくりに取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 瀬戸内国際芸術祭推進事業（151,006千円）</p> <p>①新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>令和4年3月に、基本的な感染対策やケース別の対応、来場者の検温及び体調確認、島での有症状者の発生時の対応等を盛り込んだ「瀬戸内国際芸術祭 2022 新型コロナウイルス感染症対策の指針」を策定した。</p> <p>②アートプロジェクト・イベントの準備</p> <p>瀬戸内国際芸術祭 2022 取組方針の「重点的な取組みの視点」に掲げる「瀬戸内の里海・里山の隠れた資源の発掘と発信」等について、地元市町等の関係者と協議しながら、実施内容の検討を行った。</p> <p>③広報・誘客活動の実施</p> <p>企画発表会等を開催して、国内外に情報発信を行った。また、公式ウェブサイトのリニューアルを行い、多言語での情報発信を開始するとともに、SNSを活用して、芸術祭や会場の島々の魅力を発信した。</p> <p>④受入態勢の整備</p> <p>芸術祭期間中の海上交通や島内交通について、関係事業者や地元市町等と調整のうえ、芸術祭の来場者の輸送力の確保に努めた。</p> <p>⑤オフィシャルツアー</p> <p>「瀬戸内国際芸術祭 2022 オフィシャルツアー」の実施に向け、関係事業者と協議しながら、準備・調整を行った。</p> <p>⑥作品鑑賞パスポート</p> <p>コロナ禍での接触機会の低減等の観点から作品鑑賞パスポートのデジタル化を行ったほか、1日又は2日間限定のデイチケットを導入した。</p> <p>⑦サポーターづくり</p> <p>サポーター募集説明会（オンライン）を実施するなど、地域活性化の取組みに継続的に関わるサポーターの確保・育成を図った。</p> <p>⑧「ART SETOUCHI」活動の実施</p> <p>芸術祭2019の継続作品をアート資源として公開するとともに、各種イベント等を開催した。</p>	<p>②芸術祭 2022 の作品数等：214 作品、19 イベント</p> <p>③企画発表会等の参加者：933 人（オンライン含む）</p> <p>⑧実行委員会主催イベントの参加者数：459 人（オンライン含む）</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(2) 瀬戸内国際芸術祭関連事業 (25,760 千円)</p> <p>①瀬戸内国際芸術祭連携促進事業</p> <p>芸術祭の開催効果を県内全域に波及させるため、芸術祭の開催エリア以外の県内観光スポット等と連携して行う相互PRやSNSを活用したキャンペーンの準備・調整を行った。</p> <p>②瀬戸内国際芸術祭 2022 総合案内等事業</p> <p>芸術祭に関する問い合わせに対応するため、瀬戸内国際芸術祭推進課内に案内所本部を設置した。また、芸術祭の各会場の案内所の設置準備やスタッフの配置計画を行った。</p>	

2. 課総括表

課名：デジタル戦略課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-10-1	一般庁費等	1,800	1,800			地方公共団体情報システム機構負担金
1-10-2	デジタル戦略課運営費	88,815	88,815			デジタル戦略課の運営に要する経費 給料44,945、職員手当等27,553、共済費16,317
1-10-3	政策立案推進事業	1,556	1,484		72	主要施策の成果の概要(1-10-3)に記載
1-10-4	情報通信関連産業育成・誘致事業	61,528	60,707		821	主要施策の成果の概要(1-10-4)に記載
1-10-5	情報通信交流館維持管理事業	249,232	248,672		560	e-とぴあ・かがわ(情報通信交流館)の運営管理に要する経費
1-10-6	電子県庁推進事業	26,456	26,398		58	主要施策の成果の概要(1-10-6)に記載
1-10-7	地域高度情報化促進事業	40	40			地域情報化推進に要する経費
1-10-8	公衆無線LAN環境整備促進事業	2,423	1,792		631	主要施策の成果の概要(1-10-8)に記載
1-10-9	オープンデータ推進事業	1,140	1,139		1	オープンデータカタログサイト運用に関する経費
1-10-10	「かがわDX Lab」整備事業	100,000		100,000		
	課計	532,990	430,847	100,000	2,143	

3. 職員数の状況 (R4.3.31現在)

課名：デジタル戦略課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
デジタル戦略課	11		11	
合計	11		11	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>政策立案推進事業（1-10-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 せとうち田園都市の確かな創造をめざして、県政を取り巻く様々な課題の解決に向けて、調査研究や各種取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) デジタル化推進事業（1,484千円） 様々な分野におけるデジタル化を総合的かつ戦略的に推進するため、「かがわデジタル化推進戦略」を策定するとともに、自動運転に関するワーキンググループや5G利活用に関する勉強会、デジタル技術ソリューション体験会を実施した。</p>	<p>自動運転に関するワーキンググループ 参加者数 41名</p> <p>5G利活用勉強会3回実施 (累計) 236名参加 デジタル技術ソリューション体験会 参加者数 18名</p>
<p>情報通信関連産業育成・誘致事業（1-10-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 人材交流・ビジネスモデル創出のオープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」を中心に人材育成事業を実施するとともに、拠点に集う多様な人材の交流、起業相談やビジネスマッチング支援の実施などを通じて、情報通信関連産業の育成・誘致に取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 情報通信関連人材育成事業（32,721千円）</p> <p>①かがわコーディングブートキャンプ開催事業 (19,884千円) 「Setouchi-i-Base」を講座会場とし、個別指導を行う専門講師が常駐する体制を構築することで、アプリ開発に必要なプログラミングスキルを短期集中的に習得するとともに、最終課題としてチームでアプリ開発を行うなど、実践的な講座を提供した。</p> <p>②かがわIoT実践ゼミナール開催事業（8,612千円） 企業等が抱える課題に対して、IoTを活用した解決策の企画・立案から試作品の製作までを一貫して行う実践的な講座を提供した。</p> <p>③先端技術セミナー開催事業（359千円） 情報セキュリティ、キャッシュレス、ロボット、ブロックチェーンなどの先端技術や知識に関するセミナーを実施した。</p> <p>④アントレプレナーシップ養成事業（3,866千円） 起業家や、第二創業を目指す経営者、新規事業への展開を目指す中小企業、起業に関心のある学生などを対象に、ビジネスモデルの創造と経営マネジメントを学ぶことができる講座を開催した。</p>	<p>①受講者数 24名</p> <p>②受講者数 12名</p> <p>③かがわ情報化推進協議会と連携し、計9回のセミナー等を開催し、延べ582名（オンライン含む）が受講した。</p> <p>④受講者数 25名</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(2) 情報通信関連産業育成・誘致拠点運営事業 (27,986 千円)</p> <p>①アドバイザーチーム拠点活動事業 (920 千円) 県内外の情報通信関連分野で活躍する企業経営者や有識者19名から構成するアドバイザーチームを組成。拠点利用者のビジネスモデルの創出や課題解決につなげるため、定期的にアドバイザーを招きセミナーや個別メンタリングなどを実施した。</p> <p>②コーディネーター拠点支援事業 (25,569 千円) 「Setouchi-i-Base」に専任のコーディネーターを配置し、拠点利用者からの相談への対応やビジネス化に向けた伴走支援、新たなネットワークづくり、情報発信などを行ったほか、拠点利用者による情報通信関連の技術やサービス、アイデアコンテストの開催などに取り組んだ。</p> <p>③戦略的情報発信事業 (1,497 千円) Setouchi-i-Base ポータルサイトの運用保守や、SNS 広告を活用した広報活動などに取り組んだ。</p>	<p>②相談対応件数 個人 524件 法人等 71件 ネットワーク・情報発信イベント 開催数 106回 参加者数 会場 301名 オンライン 28,627名</p> <p>③拠点利用者数 14,049 名(累計) 「Setouchi-i-Base」ポータルサイト Web 会員数 1,155 名(累計)</p>
<p>電子県庁推進事業 (1-10-6)</p> <p>1. 趣旨・概要 県民や事業者が、電子申告や電子申請、公共施設予約をインターネットを通じて行えるよう公的個人認証サービスの提供を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 公的個人認証サービス運営事業 (26,171 千円) 電子申請や電子申告をする際に成りすましやデータの改ざんを防止し、厳格な本人確認を安価に行える公的個人認証サービスの運用管理を行った。</p> <p>(2) 電子県庁推進事業事務費 (227 千円)</p>	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>公衆無線LAN環境整備促進事業（1-10-8）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>公衆無線LAN環境の整備を促進するため、公衆無線LANの整備を行う市町及び民間事業者に対して、整備費の一部の補助を行った。</p> <p>2. 具体的内容（1,792千円）</p> <p>(1) 公衆無線LAN環境整備促進事業補助金</p> <p>公衆無線LAN「かがわWi-Fi」スポット拡大のために、香川県公衆無線LAN環境整備促進事業補助金交付要綱を制定し、「かがわWi-Fi」の整備を行う市町及び民間事業者に対し、整備費の一部の補助を行った。</p> <p>(2) 宿泊施設における無線LAN環境整備事業補助金</p> <p>宿泊施設における無線LAN環境の整備を促進するため、宿泊施設の無線LAN環境整備事業補助金交付要綱を制定し、事業者に対して整備費の一部の補助を行った。</p>	<p>無料Wi-Fiスポット数（令和4年4月1日現在）：2,096か所</p>

2. 課総括表

課名：情報システム課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-11-1	情報政策課運営費	98,323	98,323			情報システム課の運営に要する経費 給料50,887、職員手当等29,550、共済費17,886
1-11-2	一般庁費等	3,929	3,758		171	集中管理特別会計(機械計算事務費) 繰出金
1-11-3	電子県庁推進事業	31,360	30,576		784	主要施策の成果の概要(1-11-3)に記載
1-11-4	行政情報化推進事業	2,227	1,046		1,181	行政情報化推進に要する経費
1-11-5	行政情報ネットワーク推進事業	90,187	88,561		1,626	行政情報ネットワーク推進事業費 映像情報システム運営事業費
1-11-6	情報システム推進事業	1,055,697	1,019,746		35,951	主要施策の成果の概要(1-11-6)に記載
	課計	1,281,723	1,242,010		39,713	

3. 職員数の状況 (R4. 3. 31現在)

課名：情報システム課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
情報システム課	[3] 22	1	[3] 23	
合計	[3] 22	1	[3] 23	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を「」内書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>電子県庁推進事業（1-11-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 総合行政ネットワーク（LGWAN）の運営を行った。</p> <p>2. 具体的内容 （1）総合行政ネットワーク参画事業（30,576千円） 国や全国の地方公共団体を接続する総合行政ネットワーク（LGWAN）の運営を行った。</p>	<p>国や全国の地方公共団体を接続する総合行政ネットワーク（LGWAN）の運用管理を行った。</p>
<p>情報システム推進事業（1-11-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 情報システムの適切な調達・運用を図るため、情報システムの調達審査を行うとともに、セキュリティにも留意して基幹系情報システム等の運用を行った。</p> <p>2. 具体的内容 （1）情報システム推進事業（1,019,746千円）</p> <p>①情報システム等の審査 情報システム等審査委員会において、予算要求時審査を126件、調達開始前審査を70件実施した。</p> <p>②基幹系情報システムの運用等 財務会計、給与、電子入札等の基幹系情報システムの更改・運用を行った。</p> <p>③高度な情報セキュリティ対策の実施 情報セキュリティ強化のために構築した庁内システムの更改・運用を行うとともに、県内市町と共同で導入した自治体情報セキュリティクラウドの更改・運用を行い、高度なセキュリティ対策を実施した。</p> <p>④A I等の活用による業務効率化推進事業 庁内の業務についてRPAやAI-OCR等を導入して自動化・効率化を推進した。</p> <p>⑤オンライン会議環境運用事業 県庁において、会議や研修等をオンラインで実施できる環境を運用した。</p>	<p>①情報システム等審査における情報システムの運用経費の削減額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算要求時審査：約1億9千万円（令和4年度予算要求ベース） ・調達開始前審査：約3億3千万円（長期契約における複数年度の削減額を含む。） <p>④A I等システムの利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RPA：16業務 ・AI-OCR：19業務 ・会議録作成支援システム：延べ1,326回 <p>⑤オンライン会議の主催回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ6,351回

2. 課総括表

課名：出納局

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-12-1	出納局運営費	53,313	52,871		442	出納局の運営に要する経費
1-12-2	給与費	220,235	220,230		5	出納局職員の給与費等 給料114,252、職員手当等 63,072、共済費39,811
	課計	273,548	273,101		447	

3. 職員数の状況 (R4. 3. 31現在)

課名：出納局

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
出納局	28	4	32	育児休業2名
合計	28	4	32	

2. 課総括表

課名：議会事務局
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-13-1	県議会だより発行事業	871	871			県議会の広報誌を年5回発行する経費
1-13-2	県議会会議録情報発信事業	1,915	1,821		94	本会議及び委員会での質疑の記録を県議会のホームページ上に掲出する経費
1-13-3	本会議等中継発信事業	2,055	2,055			本会議及び委員会の映像を県議会ホームページ上で、インターネットを通じ配信する経費
1-13-4	県議会議員費	616,814	609,914		6,900	議員の報酬及び費用弁償並びに議員活動に必要な諸経費
1-13-5	政務活動費	142,800	142,544		256	議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として議員に交付する経費
1-13-6	議会事務局運営費	361,178	356,189		4,989	議会事務局の運営に要する経費 給料146,088、職員手当等81,889、共済費49,505
1-13-7	部局運営事務費	74	74			職員旅費など事務局運営に要する経費
	課計	1,125,707	1,113,468		12,239	

3. 職員数の状況 (R4.3.31現在)

課名：議会事務局
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
議会事務局	31	18	49	
合計	31	18	49	

2. 課総括表

課名：監査委員事務局
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-14-1	監査委員費	19,231	19,124		107	監査委員の報酬等 委員報酬6,624、委員給与費 12,230、委員活動費270
1-14-2	監査委員事務局 運営費	112,037	110,569		1,468	監査委員事務局の運営に要する経 費 給料57,031、職員手当等 32,772、共済費18,974
	課計	131,268	129,693		1,575	

3. 職員数の状況 (R4.3.31現在)

課名：監査委員事務局
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
監査委員事務局	12		12	
合計	12		12	